

## かも丸ネット 地域住民在宅医療講演会 ～在宅を考えるつどい～ が開催されました！

美濃加茂市文化会館で、12月17日（日）に「平成29年度 かも丸ネット 地域住民在宅医療講演会 ～在宅を考えるつどい～」が行われ450名の方が来場されました。加茂地域でも急速に高齢化が進んでいる中、今後、できる限り住み慣れたこの地域で安心して自分らしく生活していくためにはどうしたらいいのか、これからの在宅医療について、住民や医療・介護・福祉関係者が一緒に考える機会になりました。



講演会は3部構成で、第1部では綾小路きみまろさんのものまねをしている漫談家「まろまるさん」による漫談が行われました。最近テレビで見かけるニュースや美濃加茂市、加茂地域の話題を盛り込んだ漫談に会場からは笑いと拍手がおこっていました。



第2部では、かも丸ネットに所属する在宅医療や介護に携わるスタッフによる寸劇が行われました。物語は、山之上で梨農家を営んでいた主人公の和男さんが自宅で倒れた場面から始まりました。その後、救急搬送。一命をとりとめて、退院に向けての話し合いを経て在宅に戻り、ケアマネジャーをはじめ様々な職種や地域の友人に支えられながら自分らしさを取り戻していく様子が演じられました。来場の皆さんは、寸劇それぞれの役の立場に自分の姿を重ね合わせ様々な感想をもたれたようでした。



第3部では、在宅医療の現場で活躍されておられる笹川内科胃腸科クリニックの山中賢治院長の講演が行われました。なぜ今、在宅医療がクローズアップされているのか、在宅医療の体制を整えていくためにはどんなことが必要なのかについて、四日市市での取り組みも交えて講演いただきました。講演の最後には、「住民ひとり一人が待っているだけではなく、在宅医療の問題を自分のこととしてとらえ、何ができるのかを考えて行動することが大切」というメッセージが投げかけられました。



そして、最後はお楽しみ抽選会で幕を閉じました。

来場の皆さんは、講演会のテーマである「望む暮らしをわがまちで」について、住民として、専門職としてそれぞれの視点で考える機会になったと思います。



〔 お楽しみ抽選会 〕



〔 ホワイエでの展示・チラシ配布等 〕



〔 最新福祉用具の展示 〕



〔 最新福祉用具の体験 〕